

北京とシンガポールを結ぶ陸路が開通 —第3回GMSサミット—

[ラオス・ビエンチャン、2008年3月31日] 当地で開催されている[第3回GMS*サミット](#)において、中国の温家宝首相、ラオスのブアソーン・ブッパーヴァン首相、タイのサムック・ストラウエート首相、およびアジア開発銀行（ADB）の黒田東彦総裁の立会いのもと、ラオスの国道3号線の全線が正式に開通した。

同線は、北京とシンガポールをつなぐ幹線道路で、今回開通したのは最後まで未開通だったラオス北部の箇所。着工以前は、毎年雨季の4ヶ月間は通行止めとなるため、地元住民にとって基本的な公共サービスへのアクセスが限られていたほか、商売や就労機会の妨げになっていた。しかし今回の開通により、国道3号線はタイのチェンコンと中国のモーハン（磨憨）間約230キロメートルを結び、季節を問わず走行可能な道路となった。これにより、車でほぼ1日走ればタイのバンコクから中国の昆明までたどり着けるようになる。

ADBの黒田総裁は、「古来から続く交易ルートが甦り、メコン流域国間のビジネスが新たに活性化することで、より多くの雇用が創出され、地域の繁栄につながるだろう」と述べるとともに、「道路網の発達によって、ラオスの人々は病院に行きやすくなり、また子供たちの通学も楽になるだろう」と付け加えた。

かつて13世紀の東南アジアには、シルクロードから南下する支線とつながる通商ルートが19世紀まであり、絹や茶葉、毛皮などの産物と交換するため、原綿などの商品や載せた貿易商人の隊列がこの道を北に向かっていたとされる。3号線はこれを現代に再現したものと言え、16世紀以来ラオスの交易拠点として栄えた古都クービエン（Khou Vieng）を經由する。

*大メコン河流域（Greater Mekong Subregion）。

A D B とメコン流域国は過去 10 年余にわたり、昆明とバンコクを結ぶ南北回廊の開発を進めてきた。この新ルートはラオス、タイ、中国に新しいビジネスチャンスや雇用機会をもたらすだけでなく、これらの国々を訪れる観光客の増加にも一役買うものと期待されている。

3 号線のラオス部分の総工費は 9700 万米ドルで、A D B とタイ及び中国政府がそれぞれ 3000 万米ドルを支援、残る 700 万米ドルはラオスが負担した（詳細は [A D B のホームページ](http://www.adb.org/GMS/default.asp)（英文、<http://www.adb.org/GMS/default.asp>））。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

A D B のニュースリリース（和文）は、下記 URL にもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>



06gms2005c RM

社口代衣争務川

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADBのニュースリリース(和文)は、下記URL
にてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>